

第 16 回三重河川流域委員会 議事要旨 (案)

日時：平成 28 年 3 月 24 日 10:00～12:00

場所：プラザ洞津 孔雀の間

1. 開会

2. 挨拶

3. 議題

(1) 第 15 回三重河川流域委員会の議事要旨の確認 (資料-2)

- ・ 第 15 回三重河川流域委員会の議事要旨について報告し、確認された。

(2) 鈴鹿川水系河川整備計画 (原案) について (資料-3)

- ・ P3-1：図 3.1 整備計画流量配分図に亀山地点の記載が欠落している。

→亀山地点を追記する。

- ・ P3-1：流量配分図で安楽川と鈴鹿川上流の流量を足しても下流の流量にはならないのは何故か？
(一般の人に分かる様、上流と中流で対象とする洪水が違う旨を記述した方が良いのではない
か?)

→説明文で分かる様に記述していく他、今後公表するパンフ等にも記述する。

- ・ 【概要版】(資料-6)：概要版は、今後も使う予定が有るのであれば、p7 オオクチバスの写真は
p6 の目標に外来種の駆除を入れて関連付けが必要である。また、シロチドリの方がイカルチ
ドリより地域と共生する種なので、趣旨に沿う様に適切な種を提示する必要がある

→今回の概要版は、鈴鹿川水系河川整備計画の概要版の基となるため、文章と写真とのマッ
チングなど、指摘に対応していきたい。

- ・ P4-21 文中の「バランスのとれた自然環境の保全と河川空間の適正な保全・利用を図るという」
は、漠然としているので「河川敷の適正な利用と促進」と言う様な具体的な記述が良いのではない
か?

→指摘を踏まえて、修正を図ることを検討したい。

- ・ P1-8 流下能力図に井尻頭首工が入っていないのはなぜか？

→追記する。

- ・ P1-14 m^3/s が m^3/s になっていない

→修正する。

- ・ 各委員からの意見を事務局で検討し、鈴鹿川水計河川整備計画(原案)を修正して(案)としてま
とめて頂きたい。

(3) 鈴鹿川における河川整備の効果について (資料-8)

・ (原案)は3案の内、A案を採用しているのか？

→その通りである。

・ 3案の事業費の違いはどうなっているのか？

→同程度の事業費で設定している。

・ P2: どういう破堤条件を想定しているか？

→整備途上の堤防は「スライドダウン-余裕高」、完成堤防は HWL を評価高として破堤計算している。

・ P7: 各ブロックの縦軸の目盛りの単位が異なっているため、p7 にある様な総括の棒グラフも P16 や 17 にも入れると各ブロックの被害の違いが分かり易いのではないか？

→工夫して対応する。

・ P15: 「今後ポンプ排水の運用等を考慮」という記述は、「ポンプ排水が浸水して機能不全する場合も考慮する」という意味か？

→実際のポンプ運転操作等を考慮して精度を上げていくという意味である。

・ P6 確率規模 1/1000 の 384mm は、これまでのデータ標本数から確率処理されたものであり、本来に 1000 年に 1 回降る雨が 384mm になる訳ではないことを記述した方が良い。

→指摘通り、今後の気候変動で雨の降り方も変わる事から誤解の無い様に説明を補足する。

・ P12: 代替案の A 案で上流の戦後第 2 位実績洪水というのと戦後第 2 位実績降雨と区別しているが、洪水とは流量の事か？

→その通りであり、概要版とかで説明するときにはより分かり易い様に工夫したい

(4) 今後の予定について (資料-9)

・ 今後の予定について報告した。

・ 流域委員会で頂いた意見やパブリックコメント等の意見を踏まえて河川整備計画の本文、あるいは概要資料を修正する。

・ 次回までに鈴鹿川水系河川整備計画 (案) の検討を進めていきたい。

4. 閉会

以上